

環境

提案・意見

野良猫駆除依頼

野良猫が近所の空き地に住みついているようで、毎日糞だけでなく、声にも悩まされてます。また、私の車だけでなく、どこかの社用車や観光客の車の上にも乗ってます。道にじっとしている時も。

自宅には自衛策として嫌がる匂いの薬や砂利はしてありますが、それだけでは解決になりません。毎年子猫が生まれ大きくなり繰り返す。

子供達もアレルギーも若干あるのと、以前はそこまで猫嫌いではなかったのに、ここ最近はうるさいと見つけると追いかけておいはらったりと、あまり教育的にも良くないです。娘も勉強してる夜に、猫同士のケンカやさかりの声がうるさくてたまらないとストレスがどんどんたまってます。また、先日は観光客の方も伊勢市野良猫多すぎるねと歩いている時に嫌そうな顔して話を。それは悪い印象付けしてるなど。観光都市にしたいのならば、そういう方面での検討も必要ではないですか？

回答

市民の声での飼い主のいない猫（いわゆる野良猫）の件につきましては、大変お悩みのことと察し申しあげます。

犬の場合は狂犬病予防法により捕獲できますが、猫については、捕獲できる法的根拠がないことや、放し飼いをしている飼い猫との判別が困難なため大変扱いにくい問題です。

市では、猫による被害をなくすために、まずは「無責任な餌やり行為をしない」「不幸な捨て猫を防ぐための不妊処置をする」などの適正飼育の指導啓発が重要だと考えており、その一環として「犬及び猫の不妊手術費等助成金」を設け、昨年度は456匹の猫が不妊去勢手術を受けています。また、猫の飼い方や餌やりなどについて、広報いせでの啓発や自治会の要望により簡単な啓発物の提供を行っています。

今後も市では「人と動物が共生できる社会」を目標に、保健所、自治会などと連携をはかりながら啓発に努めてまいりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

担当課

環境課

環境

提案・意見

やすらぎ墓地の便所について

市長様

やすらぎ墓地に管理費を払っていますが便所が非常に汚いので清掃をお願いしたい
一度確認して下さい

回答

やすらぎ公園内の便所につきまして、不愉快な思いをさせまして
申し訳ありませんでした。

平成28年3月29日に早速清掃をいたしました。今後このようなことがないように、定期的な清掃を行います。

担当課

霊園公社

道路・河川

提案・意見

ガードレールの設置について

度会橋を渡って（宮川沿い）県道38号？線はガードレールが不備なので、子供を乗せてクルマで通行するのにとても身の上の危険を感じます。

死亡事故が起こってからでは遅いです！

近いうちにガードレールを設置していただけるようお願いいたします。県に要望し実現させるための手段が分からないので、投書させていただきます。

回答

この度は市民の声にご提案いただきありがとうございます。さて、今回のご要望の道路は県道伊勢大宮線で、平成28年2月29日に道路管理者である三重県伊勢建設事務所保全課に申し伝えました。

その回答につきましては、「当該箇所は、一級河川宮川の堤防上にある路線であり、堤防の管理者は国土交通省になります。堤防にガードレールを設置するためには、道路管理者である県と堤防管理者である国が設置可能の有無を含めて協議を行う必要があります。

また、ガードレール設置には、堤防の弱体化等につながる恐れがある場所については河川管理上設置することはできませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。」とのことでした。

市としましても、引き続き安全対策をお願いして参りますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

監理課

道路・河川

提案・意見

道路拡充について

最近、勢田川に水道橋が新設されました
しかしながら、幹線道路を経由せず旧市街を通行して既設の橋を
わたる場合、約1kmほど狭いので通行時にはすれ違いできません
そこで水道橋横に新規に橋を新設し小木町方面ににぬけられる道
ができるるととても利便性が向上すると思えます

回答

平素は、市行政にご理解ご協力いただき、また貴重なご意見あり
がとうございます。
ご意見のとおり、勢田大橋の前後の市道は幅員が狭く、車両の円
滑な交互通行に支障があると思われます。
しかしながら、ご提案の橋梁や道路の新設によって利便性は向上
するものの、その建設には多大な事業費が必要となります。財政事
情の厳しい中、道路・橋梁のご要望は市内各所からいただいてお
り、その緊急度や費用対効果を勘案しますと、事業化は困難である
と考えておりますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

担当課

基盤整備課

まちづくり

提案・意見

駐車場を緑の森に戻して下さい。

先日、倉田山の「野口みどりの金メダルロード」を走って思いました。倉田山公園の緑が本当に減ってしまいました。新しい野球場の整備をして、駐車場を造って、消防署を移転して、それぞれは立派な施設かもしれませんが、つぶされてしまった森の面積はいかほどだったのでしょうか。失われた自然はもう戻ってきません。何回も何回も繰り返された言葉です。野球場など、一部の市民しか恩恵にあずかれません。本当に必要な施設だったのでしょうか。消防署をうつす場所はほかになかったのですか。駐車場といえば、内宮付近の五十鈴川河川敷もそうです。ほんのりと緑におおわれた五十鈴川の河川敷はのどかで美しかったのに、今やコンクリートで覆われて駐車場の白い線が引かれています。マイカーで埋め尽くされているのを見ると幻滅してしまいます。さらに、これは管轄が違うのかも知れませんが、五十鈴公園のサブ体育館の横の広場にあった立派な木々もいつの間にか伐採されてコンクリートの駐車場に変わってしまいました。あの森をとりもどすのに100年あったら足りるのでしょうか。駐車場を増やし続けるということは、観光客がマイカーでやってくることを奨励しているということになります。これではきりがありません。たとえば上高地や白川郷ではマイカー入場禁止です。街並みを維持するためにイギリスのオックスフォードもマイカー乗り入れできません。京都や東京もマイカーで回ろうなどという発想はありません。伊勢市もマイカー歓迎から規制に変更することはできないのでしょうか。もうこれ以上駐車場で緑がつぶされるのは見たくありません。マイカー規制して、既存の駐車場も緑の森に戻したら、伊勢市はもっと素晴らしい観光都市になると思います。どうかご検討をお願いします。

回答

平素は市政にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。
「市民の声」にいただきましたご意見・ご提案につきまして、回答させていただきます。

倉田山公園野球場は、一般の野球利用者を始め、子どもたちの野球教室、高齢者のグラウンドゴルフ大会等、野球だけに限らず広くスポーツ活動の場として親しまれています。高校野球の予選、神宮奉納社会人野球等の歴史ある大会の開催球場、県外からの野球合宿での利用等、スポーツ誘客を推進するためのひとつの材料ともなっています。

また、倉田山公園は市民の憩いの場でもあり同時に災害時の防災拠点として、災害から命を守るため重要な施設として位置づけられています。野球場及び駐車場の整備工事は防災機能の充実、市民の安全確保という観点で必要と考えます。

失った自然を戻すことは容易い事ではございませんが、植樹等を行い、緑を増やすよう努めているところでございますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(スポーツ課)

旧消防本部庁舎は、昭和46年に建設され、建物や設備等の老朽化が進んでいたことと、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓に津波の影響のない高台に移転させることが課題となっておりました。

こうした中、新消防本部の建設場所について、出動範囲や津波の影響等を総合的に検討した結果、現在地が出動体制上や災害発生時の拠点として適していると判断いたしました。

火災・救急等の災害出動や地震・台風等の災害発生時の対応には、万全を期してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

(消防本部総務課)

平素は当市の観光交通対策にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

駐車場やマイカー規制についてのご提案についてですが、現在、各関係行政機関、公共交通団体、地元住民等で組織されております伊勢地域観光交通対策協議会において、各組織間で連携・協力し、特に年末年始やゴールデンウィークといった大型連休期間中にパーク&バスライドで高速道路の出口規制を行い、伊勢市郊外へマイカーを誘導すると共に、神宮周辺では大規模な交通規制を実施しております。

また、当協議会のホームページなどで公共交通機関の利用促進を図ることにより、マイカー規制に繋がる交通総量抑制の対策も行っております。市営駐車場についてはマイカーで来訪される方への課金を行うことによる抑制効果、駐車場整備による路上駐車などの違法駐車防止、ひいては近隣住民の方への交通円滑化に繋がっております。ただし、どうしても郊外から来訪される身体障がい者の方や、居住地区に公共交通機関の整備がされていない方などもいらっしゃる事から一定のマイカー受入の対策を講じなければならぬ現状もございます。一方、五十鈴公園周辺整備につきましては、三重県（国体関連部署）で実施しておりますが、従来存在しておりました五十鈴公園グリーンピアといった臨時的な駐車スペースが国体に伴うサブトラックの整備により無くなり、スポーツの大会やイベントなどの来訪者の駐車スペースが減少するため、公園の一部を駐車場化しております。

緑を守ることと駐車場や観光交通対策との関係は、どちらも重要なことであり、悩ましいことでもあります。今後におきましても観光部署や関係機関と連携し、より一層の公共交通機関の利用促進及びマイカー規制の情報を広報周知させていただくよう努めていきますので、ご理解・ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

(交通政策課)

この度は貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

担当課

スポーツ課、消防本部総務課、交通政策課

観光

提案・意見

朝熊山 朝熊側登山用駐車場の整備他について

朝熊山登山路として広く県内外にその存在も知られており、登山のための来訪者も多い朝熊側登山者用駐車場の天気の良い日だと満車となります。

その場合、道路へ駐車となり、それにより交通に障害が発生しつつある状況ともなっています。（場合によっては事故を誘発するかも）

そこで、既設の駐車場をもう少し拡幅していただけないかなと思います。

あと、併せて、冬場の天気の良い日ですと、朝熊山頂から遠くは立山連峰、南アルプス、藤原岳、富士山、御前崎、浜松、名古屋ツインビル等見れます。

しかし、登山者に本日景色が見えるのかどうかの情報は登ってみてというのが実態です。

そこで、地上デジタル放送のアンテナにCCDカメラなどを設置して、本日の朝熊山からの景色というタイトルで、市のHP上に観光客への情報ということで情報提供されてはいかがかなと思います。

幸い、山頂の地上デジタル放送中継基地局までは光ファイバーケーブルも敷設されているようですし関係機関と協議すれば可能かなと思います。

回答

平素は市行政にご理解、ご協力いただき、また貴重なご意見ありがとうございます。

ご指摘のとおり、朝熊山の登山者用駐車場は利用者が増加したことから、現在、第2駐車場を整備しております。来年度には12台程度駐車可能な第2駐車場が完成しますので、そちらもご利用ください。

今後ともご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(維持課)

また、ご提案のありました本日の景色が見えるかどうかの情報ですが、おっしゃるとおりせっかく登山をするのであれば、きれいな景色を見たいですね。

まさにご提案いただいたものが、伊勢志摩スカイラインのホームページ (<http://www.iseshimaskyline.com/>) に『朝熊山頂展望台ライブカメラ』として掲載されております。携帯電話からも見ることができて便利なものとなっております。

観光客のみなさまへは公益社団法人伊勢市観光協会のホームページに伊勢志摩スカイラインのサイトへのリンクがされており、そこからご覧いただけるようになっております。是非みなさまにご利用いただき、楽しんで登山していただければと思っております。

ご提案ありがとうございました。

(観光振興課)

担当課

維持課、観光振興課

防災

提案・意見

新たな防災対策を

我が伊勢市は、東南海・東海地震が近い将来に発生するといわれています。

しかし、大規模災害がもしも、発生した場合に伊勢志摩地域に発電設備がないため電気の供給が寸断される恐れがあります。

そこで、中規模50万KW～100万KW程度の次世代型石炭火力発電設備もしくはLNG（メタンハイドレート含む）発電設備を土路～豊浜～大淀海岸付近までの間で将来的には誘致するようにしてはいかがかなと思います。もちろん発電事業者への陳情・協議は必要になってくるとは思いますが

回答

三重県が平成26年2月にとりまとめた南海トラフ地震の被害想定結果によると、理論上最大クラスの南海トラフ地震における伊勢市の津波浸水区域外の停電率は、発災直後で90%、1日後で83%、1週間後で27%と想定されております。

大規模災害発生時には、電気等の災害復旧活動の拠点として朝熊山麓公園や大仏山公園スポーツセンターなどの使用を許可する協定を、中部電力等のライフライン事業者と締結しています。ライフライン事業者においてはこれらのスペースを活用し、電力等の迅速かつ的確な復旧対策に努めていただきます。

担当課

危機管理課、商工労政課

教育

提案・意見

組み体操即刻禁止して下さい。

文部省からも小中学校における組み体操の自粛の通達が来ているかと存じます。市内でも多くの小中学校で現状実施されています。全国的に市町村単位で禁止する流れが見られます。伊勢市としても即刻禁止することを検討、指示して下さい。宜しくお願い致します。

回答

組み体操については、文部科学省からは指針が出される予定となっておりますが、現在、伊勢市教育委員会においても議論しているところです。

保護者・地域のご意見も参考にしながら、教育委員会として伊勢市の組み体操を検討していきます。

このたびは貴重なご意見をありがとうございました。

担当課

学校教育課

教育

提案・意見

小中学校の組体操禁止

組体操事故で大けがを負った生徒がつづった馳文科相への手紙。
この手紙をしっかりと読んでください。いわゆる高層ピラミッドだけでなく組体操で重大な後遺症に苦しんでいる生徒が毎年多く出ています。文部省の指導もあるかとは思いますが、一刻も早く伊勢市として禁止の方向で各学校に指示をお願い致します。

回答

ご意見をいただき、ありがとうございます。
大けがや手術に伴う肉体的な苦痛、そしてけがによる学校生活や日常生活の不自由さ、けがのために犠牲になった活動や思い出など、組み体操の事故によって大けがを負った生徒のつらい思いをしてみえる手紙を読ませていただきました。
これまでに、教育委員会では伊勢市の小中学校における組み体操の実施状況や事故の発生状況の把握を行ってきました。
現在、伊勢市教育委員会においては、組体操について議論をし、学校や保護者、地域のご意見も参考にしながら、教育委員会として伊勢市の組み体操を検討しているところです。
ご理解賜りますよう、お願いいたします。

担当課

学校教育課

教育

提案・意見

学校の運動会における組体操について

先日、スポーツ庁より学校の運動会時における組体操に関して、通知が出されましたが、通知は伊勢市にも届いているのでしょうか？

運動会の組体操の事故は、昨年から問題になっておりましたが、教育委員会ではどのような議論がなされてきたのか教えて下さい。

伊勢市では、小中学校での運動会に関わる事故について、調査をしたのでしょうか？

いつの教育委員会にて、組体操が議題に上がったのでしょうか？

組体操について、何回議論をしたのでしょうか？

スポーツ庁から通知が出されるまでの間の措置は、どのようにしていたのでしょうか？

今回の通知を受けて、どのように対応されるのか教えて欲しいと思います。

私は、組体操のタワーやピラミッドに関して、安全性は確保できないと考えております。

通知の内容に従い、組体操を見送って欲しいと思います。

教育委員会は、子どもの健康と安全及び教師の負担軽減を最大限考えて、結論を出して欲しいと思います。

よろしくおねがいします。

回答

ご意見をいただき、ありがとうございます。

3月25日にスポーツ庁より出された通知につきましては、三重県教育委員会事務局を通して伊勢市教育委員会事務局に届き、内容について確認をしております。また、これ以前にも、教育委員会事務局からは、運動会前には各校に対して事故防止に関する注意喚起を行ってきたところです。

伊勢市の小中学校における組み体操については、教育委員会事務局において、これまで各校の実施状況や組み体操事故によるけがの発生状況等について調査を行ってきました。また、各校の組み体操に対する意見等の把握を行いました。

これらの調査結果等も参考に、今年度後半より、定例教育委員会において、組み体操について複数回の議論を重ねており、現在、教育委員会として方針を示すための準備を進めているところです。

ご理解賜りますよう、お願いいたします。

担当課

学校教育課

その他

提案・意見

政策や事業の進め方や考え方について

先日、市長と語る懇談会に関する質問をしました。
伊勢市より、丁寧な回答有難う御座います。
しかし、気になることがあり、再度質問を送ります。
平成25年度・平成26年度に開催した「市長と語る懇談会」の開催目的を、教えて下さい。
目的もなく、事業ができるとは思えません。
平成25年度・平成26年度に開催した「市長と語る懇談会」の検証、または総括の結果を教えてください。
事業を行うときは、PDCAサイクルに基づき行うように、国から指導が来ているはずです。
前回、市民の声に送らせて頂いた質問は、一般的な政策や事業の継続について、市役所及び市長の考え方を聞いたものです。
その質問の回答がないことは、どういうことなのでしょう？
再度、質問の回答をお願いします。

回答

先日の回答については、市長と語る懇談会に係るご質問と理解し、お送りさせていただきましたが、趣旨が誤っておりまして申し訳ございませんでした。

さて、市長と語る懇談会の開催目的についてでございますが、「市民に市政運営に対して理解を深めていただくとともに、懇談を通して市民の声を市政運営に反映させる。」を、平成25年度及び26年度双方において、その目的としております。平成25年度に実施した際は、観光・防災対策・教育・地域医療の4つのテーマを中心にご意見をいただきました。また、平成26年度においては、ふるさと未来づくりを中心にご意見をいただきました。それぞれの結果内容につきましては、市ホームページでご紹介させていただいております。

また、一般的な政策及び事業の継続についてのご質問でございますが、各事業等については、基本的には法令、条例、各種計画等に基づき、単年度毎に予算編成を行い、議会承認を経て実施しております。既存事業については、予算編成時に毎年度、実施事業の評価を行っており、継続するか否か、或いは事業内容（手法・規模等）の変更等について検討を行います。これらの検討を行う際には、当該事業の目的に照らし合わせて、社会状況の変化、費用対効果を検証するとともに、議会・各種審議会及び委員会・市民からの意見、各種要望等、様々な方々の視点も踏まえて行っております。

ご理解いただきますようお願い申し上げます。

担当課

企画調整課

その他

提案・意見

サミットプレスセンターの利用について

朝熊にサミットのプレスセンターを建設中ですが、サミット終了後の建物の利用として（解体せずに存続させ）伊勢市に払い下げを求め、観光の核ともなるアウトレットの誘致を進めれば、観光都市としてのもうひとつの柱が出来ると考えます。
関係機関への働きかけと誘致をお願いしたい。

回答

国際メディアセンターは、平成28年5月26日（木）～27日（金）に開催される「伊勢志摩サミット」の報道拠点として、国内外の報道関係者5,000人以上が利用することが見込まれています。

現状の三重県営サンアリーナだけでは施設スペースが不足するため、現在、国が隣接する駐車場に仮設施設の建設をすすめているところです。当該建物については、仮設施設であることから利用後は、解体される予定であり、部材の再利用を行うと伺っております。

三重県営サンアリーナは、スポーツをはじめ、文化・産業振興などの多様なイベントが開催できる交流拠点であることから、アウトレットの誘致等、現状非常に難しいものと考えております。

担当課

企画調整課

その他

提案・意見

電話のたらい回し

先日、家族のものが、市内のあるイベントの日時や詳細を知りたく、教えていただこうと、市役所さんへお電話した時のことです。

はじめは、代表の番号へ電話をかけ、うけたまわっていただき担当部署につないでいただきました。

しかし、先ほどのように教えていただこうと伝えてみると「申し訳ありません、そのイベントは〇〇課になりますので、繋がせていただきます」とあやまられました。この課のかたがわるいわけではないですが、お互いにとても悪い気分になります。

せっかく繋いでいただき、電話しているのにどうしてこういったことがおこるのですか?!もう少し相手の方が何をいつているのか考えて、つなげるさきを見直してほしいです。

回答

平素は市政にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

このたびはご不快な思いをおかけし誠に申し訳ありません。

代表番号への電話につきましては、相手様の尋ねたい内容を十分確認させていただいた上、的確にご案内させていただきますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

担当課

管財契約課

その他

提案・意見

監視カメラについて

NHKや各ニュースで初期パスワードのままの監視カメラやセキュリティの甘い監視カメラがインターネットのまとめサイトでまる見えになっており、店などのレジの出し入れや息子などが見守りにつけた室内カメラが丸写りで着がえたり、食事をしている老人の姿がそのままインターネットで流れている問題が取り上げられていました。

伊勢の管理している監視カメラにきちんとパスワードがかかっているのかは市民には確認しようのないことです。きちんと市の方で市の確認できる監視カメラについては、管理体制の確認を行っていただきたいです。

回答

監視カメラについて、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

現在、伊勢市で管理している監視（防犯）カメラには、パスワードを設定するなどしてインターネットで見えるものはございません。ホームページに掲載している内宮周辺道路の画像は、市民及び来訪される皆様に交通状況を提供するものでございます。

住民の不安を緩和し、防犯カメラの適正な運用を促進するため、平成27年12月に三重県が「三重県防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」を策定されたところでございます。

防犯カメラを設置する場合には、個人のプライバシーの保護に配慮し、画像データの保存やセキュリティ対策等、適正な設置及び運用に努めていきますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

危機管理課

その他

提案・意見

新産業誘致を

いま巷では、ユーグレナによる藻を利用した油の生成ということでジェット燃料を藻から製造する試みが取り組まれています。

幸いにして伊勢市は、五十鈴川・宮川・勢田川を有しており、海にも面しています。

そこで、河口部や休耕田・溜池・河川の干潟等の利用を視野に入れて当該企業のプラント誘致されてはいかげなかなと思います。

回答

ご意見をいただきありがとうございます。伊勢市は、産業の振興及び雇用の促進を図るため、企業誘致を行っています。ご提案の新産業の誘致に関しましても、この目的に適うものであれば、検討してまいります。今後も市の活性化のため、企業誘致に務めてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

担当課

商工労政課

その他

提案・意見

FreeWi-Fiの整備について

先日、市民の声に投稿された「名所旧跡付近のFREE WIFIの充実を」の意見を拝見しました。

私からも、Wi-Fi環境の整備を要望します。

市の回答として問題にしていたのは、市内のアクセスポイントを簡易に接続できないかということだと思います。

たしかFree Wi-Fi MIEは、NTTBP社が提供しているスマートフォン用自動接続アプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」に参画しています。

<http://www.ntt-bp.net/jcfw/area/ja.html>

2015年から、既存のFreeWi-Fiへの接続サービスも可能になりました。

この接続サービスに参画していないアクセスポイントがあるのでしたら、参加をして欲しく思います。

今年の3月までは、割引キャンペーンをしていたはずですが。

FreeWi-Fiの維持費に関しては、自動販売機の収益から維持費を充てるのでしょうか？

Wi-Fiアクセスポイント付きの自動販売機があります。

自動販売機に隣接してFreeWi-Fiのアクセスポイントを設置している自治体もあります。

また、太陽光発電機とLED掲示板による広告とWi-Fiアクセスポイントを合わせたものを設置するのはどうですか？

設備の維持費は、広告収入で行う。

ご一考のほど、よろしくおねがいします。

回答

ご提案、ありがとうございます。

「Japan Connected-free Wi-Fi」は非常に便利なしくみで、専用アプリをダウンロードし認証登録をしておけば、アプリを起動し活用することで、参加しているアクセスポイントへ簡単に接続することができます。

このしくみは利用者の利便性を飛躍的に高めるため、「Japan Connected-free Wi-Fi」に限らず他の似たしくみについても勉強させていただき、検討したいと考えております。

他事業者様のWi-Fiについても、皆がこのようなしくみに参加すれば、以前にお答えした「市内観光エリアならどこでもFree Wi-Fiを利用できる」という状況が実現しますので、それも一案かと思いません。

もうひとつのご提案「Wi-Fiアクセスポイント付き自動販売機」は、設置の手軽さが魅力です。設置場所を選びますが、これもひとつの方法として考えられます。

広告収入でWi-Fiのランニングコストを賄う方法は、通行量の多い都市部では非常に有効だと思います。

現在Wi-Fi整備については、様々な可能性を検討中です。今回ご提案いただいた内容もそのひとつとして、検討を重ねてまいります。

ご提案、ありがとうございました。

担当課

観光振興課

その他

提案・意見

野口みずき金メダルロード

野口みずきの金メダルロードについて、伊勢市のホームページでは自然が多く楽しんで走ったり歩いたりできるコースと書いてあります。でも実際に走ってみると、国道のところは歩道が狭いし、また歩道が傷んでいて走りにくい所が多々あります。特に鹿海交差点付近から倉田山公園に至る場所で、疲労してくると、足元に注意しないと転倒しそうです。せっかくの金メダルロードですから、国体に向けて整備してくれたら、と思います。ぜひ、市長さんにも走ってみたいと思います。

回答

野口みずき金メダルロードを確認の結果、所々、傷んでいるところが見受けられました。

ご指摘のありました部分につきましては、国道・県道にあたるため、それぞれの所管へ確認したところ、近々の道路整備工事の予定はありませんでしたが、現在の歩道の状況について報告いたしました。

なお、全体的に路面の距離標示の傷みが進んでいましたので、そちらにつきましては修繕を行いたいと考えております。

貴重なご意見ありがとうございました。

担当課

スポーツ課

その他

提案・意見

サミットで少し気になること

市民の声には、横断歩道への信号機敷設等交通ルールに関する事や喫煙（受動喫煙）に関する内容も多い様に思います。信号機が無い横断歩道でも歩行者がいれば一旦停止が、車線変更時には指示器を出すのが道交法ですが、伊勢ではあまり気にしていません。また、白線により区分けされた幅広い歩道もありますが路上駐車に使用しているので歩行者等は車道へ出て歩いています。他方、喫煙も伊勢市駅の公衆トイレではタクシーの運転手さんが銜え煙草で入ってきて用を足し、雑巾を洗って出て行きました。また、歩き煙草もあるようですが、いずれも吸い殻の行方は知りません（携帯用灰皿を持っている人は殆ど見かけません）。サミット関連事項にかんして、市からは街を綺麗にして見せる事の周知が主体のようにも思えるのですが、表示を含め外国語への対応は進んでいるのでしょうか。些細な事ですが、サミットで首都圏から来る多くの外国プレスの方に伊勢神宮以外の伊勢は前記事項を含めどの様に映るのか気になります。

回答

サミットの開催に向けて伊勢市では、国・県・関係市町・民間及び地域団体等の方々と連携をしながら、さまざまな準備をしています。

外国語への対応については、総合観光パンフレットの外国語版作成や案内標識の英語表示等を行い、現在は、多言語対応のマップや外国人向け会話補助シートの作成等を進めています。

また、広域連携での取り組みとしては、伊勢志摩観光コンベンション機構で、伊勢志摩の情報が事典的に索引できる冊子「伊勢志摩事典」の日英語版と「伊勢志摩動画」（15分程度）を作成し、データにてサンアリーナで活動する各国のメディアに配布をする予定です。ホームページについても多言語に対応できるようにしています。

今後も、関係機関・地域団体等の方々と連携をしながら、取り組みを進めていきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

企画調整課、観光振興課、観光誘客課

その他

提案・意見

職員について

いつも役所を利用させていただき感じるのは笑顔できちんと対応してくれる方の名札をみると嘱託職員の方が多い気がします。逆に嫌な気持ちになるのは、職員の方が多い気がします。であるのに、職員の方のアルバイトさんや嘱託さんへの態度が横柄と聞く事、見る事がありますので、今一度意見として、周知して下さい。よりよい市政づくりをおねがいします。

回答

これまでも、市役所へ来庁される方々を「お客様」として接し、接遇については気を付けてきたところです。今回このようなご意見をいただき、大変申し訳なく思います。今後は、職員としての立場に違いはあるものの同じ市役所で働く職員が一丸となって、よりよい市政づくりに取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。ご意見ありがとうございました。

担当課

職員課